



平成28年3月期 第2四半期決算短信〔日本基準〕(連結)

平成27年10月27日
上場取引所 東

上場会社名 **株式会社 両毛システムズ**

コード番号 9691 URL <http://www.ryomo.co.jp/>

代表者 (役職名) 代表取締役社長 (氏名) 秋山 力

問合せ先責任者 (役職名) 執行役員 管理統括部長 (氏名) 上山 和則 (TEL) 0277 - 53 - 3131

四半期報告書提出予定日 平成27年11月4日 配当支払開始予定日 —

四半期決算補足説明資料作成の有無 : 無

四半期決算説明会開催の有無 : 無

(百万円未満切捨て)

1. 平成28年3月期第2四半期の連結業績 (平成27年4月1日～平成27年9月30日)

(1) 連結経営成績(累計) (%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
28年3月期第2四半期	5,777	9.2	135	17.6	149	10.1	89	12.6
27年3月期第2四半期	5,289	6.3	115	△71.8	135	△67.8	79	△31.4

(注) 包括利益 28年3月期第2四半期 58百万円(△30.8%) 27年3月期第2四半期 84百万円(△33.7%)

	1株当たり 四半期純利益	潜在株式調整後 1株当たり 四半期純利益
	円 銭	円 銭
28年3月期第2四半期	25.56	—
27年3月期第2四半期	22.70	—

(2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率
	百万円	百万円	%
28年3月期第2四半期	11,165	6,942	62.2
27年3月期	11,148	6,936	62.2

(参考) 自己資本 28年3月期第2四半期 6,942百万円 27年3月期 6,936百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
27年3月期	—	0.00	—	15.00	15.00
28年3月期	—	0.00	—	15.00	15.00
28年3月期(予想)	—	—	—	15.00	15.00

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

3. 平成28年3月期の連結業績予想 (平成27年4月1日～平成28年3月31日)

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する当期純利益		1株当たり 当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	12,500	9.3	550	6.7	574	4.9	363	29.2	103.74

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 無

※ 注記事項

- (1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動 : 無
- (2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 有
 (注) 詳細は、添付資料P. 4「2. サマリー情報(注記事項)に関する事項(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用」をご覧ください。
- (3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示
- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 有
- ② ①以外の会計方針の変更 : 無
- ③ 会計上の見積りの変更 : 無
- ④ 修正再表示 : 無

(注) 詳細は、添付資料P. 4「2. サマリー情報(注記事項)に関する事項(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示」をご覧ください。

(4) 発行済株式数(普通株式)

① 期末発行済株式数(自己株式を含む)	28年3月期2Q	3,510,000株	27年3月期	3,510,000株
② 期末自己株式数	28年3月期2Q	11,035株	27年3月期	11,035株
③ 期中平均株式数(四半期累計)	28年3月期2Q	3,498,965株	27年3月期2Q	3,498,965株

※ 四半期レビュー手続の実施状況に関する表示

この四半期決算短信の開示時点において、金融商品取引法に基づく四半期連結財務諸表のレビュー手続を実施中ではありません。

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

本資料に記載されている業績予想等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、その達成を当社として約束する趣旨のものではありません。また、実際の業績等は今後様々な要因により大きく異なる可能性があります。

業績予想の前提となる条件及び業績予想の利用にあたっての注意事項等については、添付資料P. 3「1. 当四半期決算に関する定性的情報(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明」をご覧ください。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 経営成績に関する説明	2
(2) 財政状態に関する説明	3
(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明	3
2. サマリー情報（注記事項）に関する事項	4
(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動	4
(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用	4
(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示	4
3. 継続企業の前提に関する重要事象等	4
4. 四半期連結財務諸表	5
(1) 四半期連結貸借対照表	5
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書	7
四半期連結損益計算書	
第2四半期連結累計期間	7
四半期連結包括利益計算書	
第2四半期連結累計期間	8
(3) 四半期連結キャッシュ・フロー計算書	9
(4) 四半期連結財務諸表に関する注記事項	10
(継続企業の前提に関する注記)	10
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	10
(セグメント情報等)	10

1. 当四半期決算に関する定性的情報

(1) 経営成績に関する説明

当第2四半期連結累計期間におけるわが国経済は、為替は対ドル、対ユーロ等主要基軸通貨に対して引き続き円安傾向で推移しており、また設備投資も持ち直しの動きが継続していることから、景気は緩やかな回復基調が続き、企業収益は改善していると見受けられますが、中国経済の減速に端を発した世界連鎖株安など、景気の先行きに一部不透明感が強まっております。

情報サービス産業におきましては、企業収益の改善傾向や税・社会保障番号制度（マイナンバー制度）の開始によるシステム対応等により、ソフトウェア投資が増加傾向にあることに加えて、ネットワークセキュリティや情報漏洩防止などICTに関わるセキュリティソリューション需要の高まりにより、商談環境は堅調に推移しております。

このような状況の中、当社及び連結子会社（以下、当社グループ）では、公共分野及び民間分野とも引き続き受注拡大ならびに収益構造の改善に取り組んでまいりました。

その結果、売上高は5,777百万円（前年同期比9.2%増）、営業利益は135百万円（前年同期比17.6%増）、経常利益は149百万円（前年同期比10.1%増）、親会社株主に帰属する四半期純利益は89百万円（前年同期比12.6%増）となりました。

また、平成27年5月7日に開示しました決算短信において記載した「会社の対処すべき課題」は、

- ① 研究機能の充実
- ② セキュリティソリューションサービスの充実
- ③ 製品・サービスの品質向上
- ④ 標準化の推進による生産性向上
- ⑤ グローバル展開するミツバグループの成長支援
- ⑥ 人材育成

の6項目を掲げておりますが、それぞれ継続して推進しております。

セグメントごとの業績は、以下のとおりです。

(公共事業セグメント)

公共事業セグメントでは、自治体向け「G. B e _ U（ジービーユー）」（次世代電子行政システム）、介護保険制度改正対応、戸籍情報総合システム、学校教育用コンピュータシステム等の導入が堅調に推移いたしました。

また、プロジェクト管理などの生産性が向上したことも寄与いたしました。

その結果、売上高は3,014百万円（前年同期比13.8%増）、セグメント利益は303百万円（前年同期比132.2%増）となりました。

(社会・産業事業セグメント)

社会・産業事業セグメントでは、当社の主力である各事業向けパッケージシステム、ガス事業者向け「G I O S（ジーオス）」、印刷業向け「P r i n T a c t（プリンタクト）」等が堅調に推移いたしました。

また、組込ソフトウェア開発におけるコンサルティングサービスも堅調に推移いたしました。電力事業者向け「顧客料金管理サービス」を始めとする各種ソリューションサービスも堅調に推移しております。

その結果、売上高は2,762百万円（前年同期比4.6%増）、セグメント利益は387百万円（前年同期比4.3%増）となりました。

(2) 財政状態に関する説明

① 財政状態に関する分析

(資産・負債・純資産)

当第2四半期連結会計期間末における資産の残高は11,165百万円(前連結会計年度末11,148百万円)となり、17百万円増加しました。流動資産は7,289百万円となり216百万円増加し、固定資産は3,876百万円となり198百万円減少しました。

流動資産の増加要因は、リース投資資産が79百万円減少したものの、現金及び預金が98百万円、たな卸資産が150百万円増加したこと等によるものです。固定資産の減少要因は、無形固定資産のソフトウェアが124百万円、ソフトウェア仮勘定が30百万円減少したこと等によるものです。

当第2四半期連結会計期間末における負債の残高は4,223百万円(前連結会計年度末4,212百万円)となり、11百万円増加しました。流動負債は2,985百万円となり165百万円増加し、固定負債は1,238百万円となり153百万円減少しました。

流動負債の増加要因は、買掛金が47百万円、賞与引当金が143百万円増加したこと等によるものです。固定負債の減少要因は、長期借入金が50百万円、リース債務が103百万円減少したこと等によるものです。

当第2四半期連結会計期間末における純資産の残高は6,942百万円(前連結会計年度末6,936百万円)となり、5百万円増加しました。これは、その他有価証券評価差額金が17百万円、退職給付に係る調整累計額が13百万円減少しましたが、利益剰余金が36百万円増加したことによるものです。

② キャッシュ・フローの状況

当第2四半期連結会計期間末における現金及び現金同等物(以下「資金」という。)は、前連結会計年度末に比べ98百万円増加し1,606百万円となりました。各キャッシュ・フローの状況は、次のとおりです。

(営業活動によるキャッシュ・フロー)

営業活動の結果得られた資金は、312百万円(前年同期は111百万円の使用)となりました。この主な要因は、税金等調整前四半期純利益149百万円、無形固定資産償却費193百万円の計上によるものです。

(投資活動によるキャッシュ・フロー)

投資活動の結果使用した資金は、25百万円(前年同期は16百万円)となりました。この主な要因は、有形固定資産の取得による支出10百万円、無形固定資産の取得による支出12百万円によるものです。

(財務活動によるキャッシュ・フロー)

財務活動の結果使用した資金は、187百万円(前年同期は321百万円)となりました。この主な要因は、長期借入金の返済による支出140百万円、配当金の支払額52百万円によるものです。

(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

当社グループの通期の連結業績予想につきましては、受注も堅調に推移しており、平成27年5月7日に開示した内容に、現時点では修正はありません。

なお、上記連結業績予想は現在入手可能な情報による判断及び仮定に基づいておりますが、予想に内在する不確定要素や今後の事業運営における内外状況の変化により、実際の業績数値が予想の数値と異なる場合がありますことをご承知おきください。

2. サマリー情報（注記事項）に関する事項

（1）当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動

該当事項はありません。

（2）四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用

税金費用の計算

当連結会計年度の税引前当期純利益に対する税効果会計適用後の実効税率を合理的に見積り、税引前四半期純利益に当該見積実効税率を乗じて計算する方法を採用しております。

（3）会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

会計方針の変更

（企業結合に関する会計基準等）

「企業結合に関する会計基準」（企業会計基準第21号 平成25年9月13日。以下「企業結合会計基準」という。）、「連結財務諸表に関する会計基準」（企業会計基準第22号 平成25年9月13日。以下「連結会計基準」という。）及び「事業分離等に関する会計基準」（企業会計基準第7号 平成25年9月13日。以下「事業分離等会計基準」という。）等を、第1四半期連結会計期間から適用し、支配が継続している場合の子会社に対する当社の持分変動による差額を資本剰余金として計上するとともに、取得関連費用を発生した連結会計年度の費用として計上する方法に変更いたしました。また、第1四半期連結会計期間の期首以後実施される企業結合については、暫定的な会計処理の確定による取得原価の配分額の見直しを企業結合日の属する四半期連結会計期間の四半期連結財務諸表に反映させる方法に変更いたします。加えて、四半期純利益等の表示の変更を行っております。当該表示の変更を反映させるため、前第2四半期連結累計期間については、四半期連結財務諸表の組替えを行っております。

企業結合会計基準等の適用については、企業結合会計基準第58－2項（4）、連結会計基準第44－5項（4）及び事業分離等会計基準第57－4項（4）に定める経過的な取扱いに従っており、第1四半期連結会計期間の期首時点から将来にわたって適用しております。

なお、当第2四半期連結累計期間において、四半期連結財務諸表に与える影響額ははありません。

3. 継続企業の前提に関する重要事象等

該当事項はありません。

4. 四半期連結財務諸表

(1) 四半期連結貸借対照表

(単位：千円)

	前連結会計年度 (平成27年3月31日)	当第2四半期連結会計期間 (平成27年9月30日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	1,017,973	1,116,274
受取手形及び売掛金	2,218,857	2,231,604
リース投資資産	1,524,695	1,444,727
有価証券	100,000	100,000
たな卸資産	857,050	1,007,965
その他	1,354,518	1,389,146
貸倒引当金	△244	△223
流動資産合計	7,072,850	7,289,495
固定資産		
有形固定資産	1,042,184	977,249
無形固定資産		
ソフトウェア	440,483	315,813
ソフトウェア仮勘定	36,427	6,083
その他	305,484	288,829
無形固定資産合計	782,394	610,725
投資その他の資産		
退職給付に係る資産	1,469,174	1,530,621
その他	781,659	757,877
貸倒引当金	△3	△3
投資その他の資産合計	2,250,830	2,288,494
固定資産合計	4,075,409	3,876,469
資産合計	11,148,259	11,165,965
負債の部		
流動負債		
買掛金	534,360	581,958
短期借入金	292,600	270,000
未払法人税等	28,522	40,468
賞与引当金	409,134	553,133
受注損失引当金	73,904	80,722
その他	1,482,193	1,459,629
流動負債合計	2,820,716	2,985,912
固定負債		
長期借入金	50,000	-
リース債務	1,327,553	1,223,915
その他	13,940	14,094
固定負債合計	1,391,493	1,238,010
負債合計	4,212,210	4,223,922

(単位：千円)

	前連結会計年度 (平成27年3月31日)	当第2四半期連結会計期間 (平成27年9月30日)
純資産の部		
株主資本		
資本金	1,966,900	1,966,900
資本剰余金	2,453,650	2,453,650
利益剰余金	1,999,228	2,036,176
自己株式	△8,513	△8,513
株主資本合計	6,411,264	6,448,213
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	92,892	74,958
退職給付に係る調整累計額	431,892	418,870
その他の包括利益累計額合計	524,784	493,829
純資産合計	6,936,049	6,942,042
負債純資産合計	11,148,259	11,165,965

(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書

(四半期連結損益計算書)

(第2四半期連結累計期間)

(単位：千円)

	前第2四半期連結累計期間 (自平成26年4月1日 至平成26年9月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自平成27年4月1日 至平成27年9月30日)
売上高	5,289,934	5,777,159
売上原価	4,455,845	4,758,093
売上総利益	834,088	1,019,066
販売費及び一般管理費		
給料及び手当	325,497	350,785
賞与引当金繰入額	86,469	120,096
その他	306,610	412,349
販売費及び一般管理費合計	718,578	883,232
営業利益	115,510	135,834
営業外収益		
受取利息	5,364	4,228
受取配当金	4,241	6,031
受取賃貸料	4,615	3,425
転リース差益	10,619	9,652
その他	4,623	2,767
営業外収益合計	29,464	26,105
営業外費用		
支払利息	5,328	4,924
有価証券売却損	-	4,823
賃貸収入原価	1,429	558
その他	2,331	2,047
営業外費用合計	9,090	12,354
経常利益	135,885	149,585
特別利益		
固定資産売却益	16	9
特別利益合計	16	9
特別損失		
固定資産売却損	9	124
固定資産除却損	90	63
特別損失合計	99	188
税金等調整前四半期純利益	135,802	149,407
法人税等	56,376	59,973
四半期純利益	79,426	89,433
非支配株主に帰属する四半期純利益	-	-
親会社株主に帰属する四半期純利益	79,426	89,433

(四半期連結包括利益計算書)

(第2四半期連結累計期間)

(単位：千円)

	前第2四半期連結累計期間 (自平成26年4月1日 至平成26年9月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自平成27年4月1日 至平成27年9月30日)
四半期純利益	79,426	89,433
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	12,574	△17,933
退職給付に係る調整額	△7,513	△13,021
その他の包括利益合計	5,061	△30,955
四半期包括利益	84,487	58,477
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	84,487	58,477
非支配株主に係る四半期包括利益	-	-

(3) 四半期連結キャッシュ・フロー計算書

(単位：千円)

	前第2四半期連結累計期間 (自 平成26年4月1日 至 平成26年9月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自 平成27年4月1日 至 平成27年9月30日)
営業活動によるキャッシュ・フロー		
税金等調整前四半期純利益	135,802	149,407
減価償却費	84,003	83,077
無形固定資産償却費	203,528	193,467
退職給付に係る資産の増減額 (△は増加)	△46,353	△80,613
賞与引当金の増減額 (△は減少)	9,633	143,999
受注損失引当金の増減額 (△は減少)	△625	6,817
貸倒引当金の増減額 (△は減少)	179	△20
受取利息及び受取配当金	△9,606	△10,260
有価証券売却損益 (△は益)	-	4,823
支払利息	5,328	4,924
為替差損益 (△は益)	318	△255
固定資産売却損益 (△は益)	△7	114
固定資産除却損	90	63
売上債権の増減額 (△は増加)	△313,530	△106,492
たな卸資産の増減額 (△は増加)	△435,332	△150,915
その他の流動資産の増減額 (△は増加)	24,698	119,999
仕入債務の増減額 (△は減少)	196,965	△10,963
未払費用の増減額 (△は減少)	2,520	22,491
その他の流動負債の増減額 (△は減少)	38,901	35,650
その他の固定負債の増減額 (△は減少)	1,344	△81,540
小計	△102,142	323,774
利息及び配当金の受取額	9,629	10,283
利息の支払額	△5,073	△4,734
法人税等の支払額	△13,554	△16,730
営業活動によるキャッシュ・フロー	△111,141	312,593
投資活動によるキャッシュ・フロー		
定期預金の預入による支出	△170,000	△170,000
定期預金の払戻による収入	170,000	170,000
投資有価証券の取得による支出	△90	△102
投資その他の資産の増減額 (△は増加)	△2,818	△2,348
有形固定資産の取得による支出	△2,632	△10,742
無形固定資産の取得による支出	△10,853	△12,615
投資活動によるキャッシュ・フロー	△16,394	△25,809
財務活動によるキャッシュ・フロー		
短期借入金の純増減額 (△は減少)	△92,000	68,000
長期借入金の返済による支出	△140,800	△140,600
リース債務の返済による支出	△53,986	△63,066
配当金の支払額	△34,841	△52,172
財務活動によるキャッシュ・フロー	△321,628	△187,839
現金及び現金同等物に係る換算差額	-	-
現金及び現金同等物の増減額 (△は減少)	△449,164	98,944
現金及び現金同等物の期首残高	1,870,051	1,507,990
現金及び現金同等物の四半期末残高	1,420,887	1,606,934

(4) 四半期連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

該当事項はありません。

(セグメント情報等)

【セグメント情報】

I 前第2四半期連結累計期間(自平成26年4月1日至平成26年9月30日)

報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位:千円)

	報告セグメント		合計	調整額 (注)1	四半期連結 損益計算書 計上額 (注)2
	公共事業	社会・産業事業			
売上高					
外部顧客への売上高	2,648,526	2,641,407	5,289,934	—	5,289,934
セグメント間の内部売上高 又は振替高	—	—	—	—	—
計	2,648,526	2,641,407	5,289,934	—	5,289,934
セグメント利益	130,809	371,606	502,415	△386,905	115,510

(注) 1. セグメント利益の調整額△386,905千円には、各報告セグメントに配分していない製造補助部門費△60,014千円及び全社費用△326,890千円が含まれております。全社費用は、主に報告セグメントに帰属しない一般管理費であります。

2. セグメント利益は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。

II 当第2四半期連結累計期間(自平成27年4月1日至平成27年9月30日)

報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位:千円)

	報告セグメント		合計	調整額 (注)1	四半期連結 損益計算書 計上額 (注)2
	公共事業	社会・産業事業			
売上高					
外部顧客への売上高	3,014,954	2,762,205	5,777,159	—	5,777,159
セグメント間の内部売上高 又は振替高	—	—	—	—	—
計	3,014,954	2,762,205	5,777,159	—	5,777,159
セグメント利益	303,679	387,458	691,138	△555,304	135,834

(注) 1. セグメント利益の調整額△555,304千円には、各報告セグメントに配分していない製造補助部門費△87,462千円及び全社費用△467,842千円が含まれております。全社費用は、主に報告セグメントに帰属しない一般管理費であります。

2. セグメント利益は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。